

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC1)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2026年1月23日

中央水産試験場資源管理部

地 点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (℃)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					Atsc	その他	Df	Da	D属の他種	
標津 (13.0)	1/13	0	1.55	31.99	0	0	0	10	10	Dn10
		5	1.56	31.98	0	0	0	10	0	
		10	1.56	31.98	0	0	0	10	0	
		15	1.57	31.98	0	0	0	20	20	Dn20
厚岸 (3.5)	1/19	0	0.49	31.99	0	0	0	0	0	
		5	1.65	32.57	0	0	0	10	0	
		10	1.82	32.64	0	0	0	40	0	
		13	1.84	32.65	0	0	0	10	0	

Atsc= Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (Alexadnrium catenella (Group I)とAlexandrium pacificum (Group IV)を含む), Am/t = Alexandrium minutum/Alexandrium tamutum アレキサンドリウム・タム・タム/アレキサンドリウム・ミヌータム(有毒種の可能性)
Ao=Alexandrium ostenferudii (有毒種)
Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atscは出現していません。

下痢性原因種は標津でデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、
厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 宮園 章, 品田晃良)